

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の障害、軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本体を吊込んだ後、枠側上丁番のレバーが上がっていることを確認してください。レバーが上端まで上がっていないと、本体脱落の原因になります。
- 丁番固定ねじの締め忘れ・緩みなどは、本体脱落の原因になります。調整後本体・枠への固定ねじ及び、丁番本体の止めねじが必ず締まっていることを確認してください。

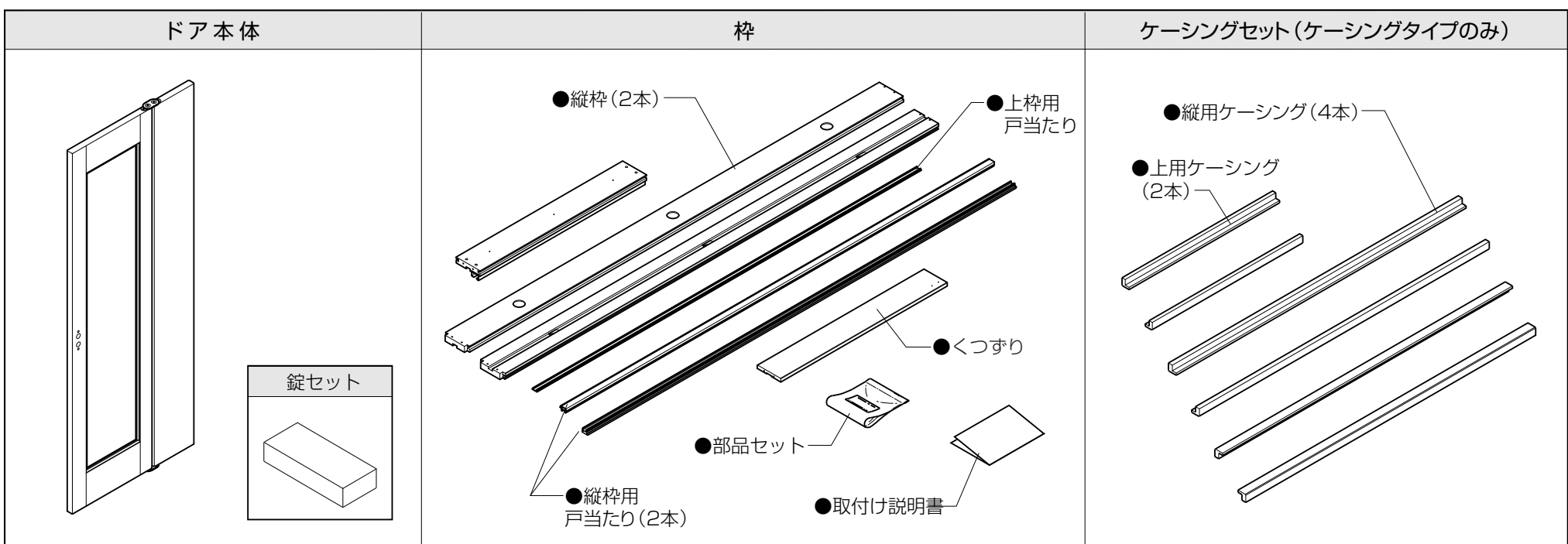
■施工上のお願い

- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
 - 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤を併用してください。かい木の両面に接着剤を塗布してください。
 - かい木には、合板などの乾燥材を使用し、潤潤材は使用しないでください。
 - 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付きドライバーの弱でお締めください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
 - 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
 - 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
 - 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
 - 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
 - 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には、必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
 - 丁番は指定のねじで締め付け、ガタツキのないように固定してください。調整後ガタツキがないことを確認してください。
 - 上枠とまぐさのすき間は、必ずかい木を入れてください。
 - 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
 - 沓すり部の納め方に応じて縦枠を切断してください。
 - ドアストッパーを壁に取付ける場合は、補強材が杯っていることを確認してください。
- ※建築工事中は、ドア本体を養生・保全のため取外しておき、施工完了後に吊込むことをおすすめします。
- 現場で使う接着剤は、「F★★★★」又はノンホルムタイプを使用してください。

■縦枠の切断

平薄沓すり	切断不要
沓すりなし	切断(14mm)

■部品・部材の明細



■枠セット明細

	標準ドア	トイレドア
縦 枠	2	2
上 枠	1	1
戸当たり	縦2・上1	縦2・上1
沓摺り	1	1

■ケーシングセット明細

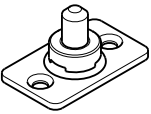


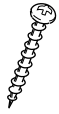
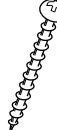
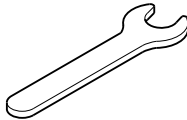
上用ケーシング	2
縦用ケーシング	4

■錠セット

ハンドルセット	1組
台座セット	1組
ハンドル固定ねじ(φ4×16)	1本

■ 部品セット 標準ドア・トイレドア用《枠用部品セット》

※予備用4本含む。

下ピボット 	皿タッピンねじ φ4×16  (下ピボット取付用)	皿小ねじ M4×50  (枠組立用)	ナベタッピンねじ φ4×40  (縦枠躯体取付用)	トラスタッピンねじ φ4×60  (上枠躯体取付用)	スパナ 
1	2	8	6	※7	1

■ 開口部の確認

- 開口部の水平・垂直を確認してください。
- ※開口部寸法が右記寸法になっていることを確認してください。

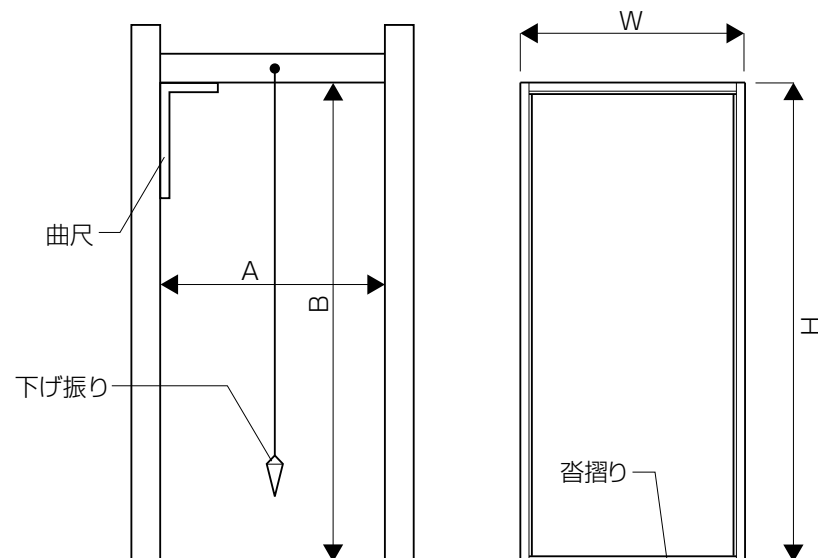
開口寸法A	製品寸法W+5mm
開口寸法B	製品寸法H+5mm

■ 取付け範囲 (単位: mm)

	ケーシングタイプ		木造用ノンケーシングタイプ		
	薄壁用	厚壁用	NC156	NC171	NC180
対象壁厚	111~141	142~170	116~130	131~145	146~160

● 開口寸法

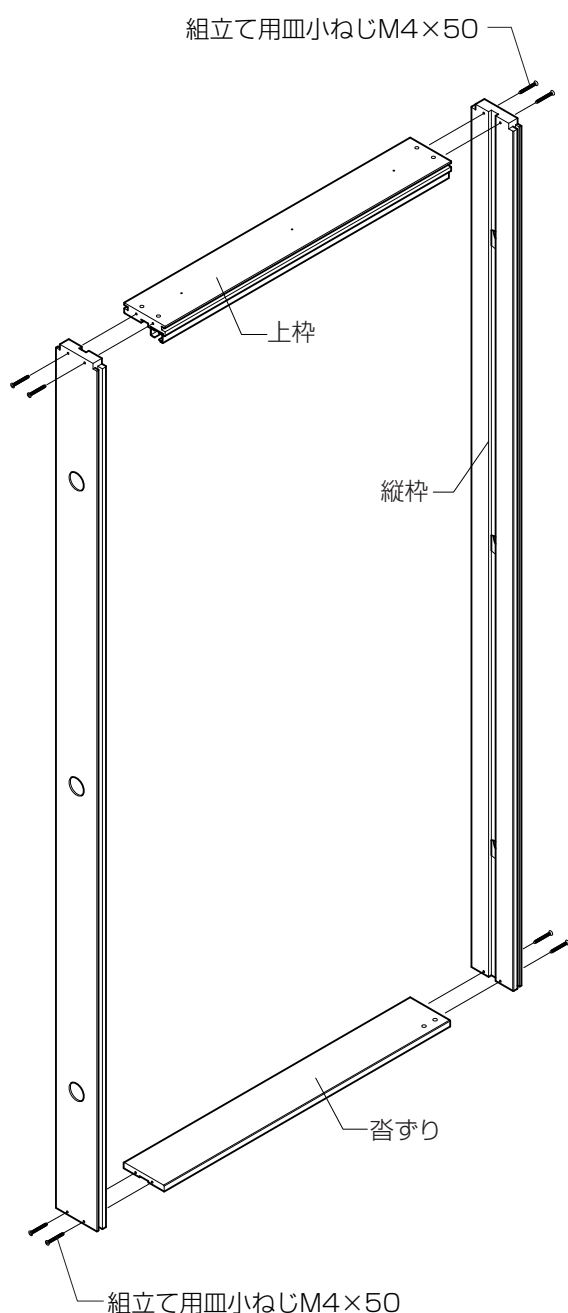
● 製品寸法



■ 取付け手順

1 枠の組立て

- 下図のように各部材を組合わせ、同梱のねじで固定します。

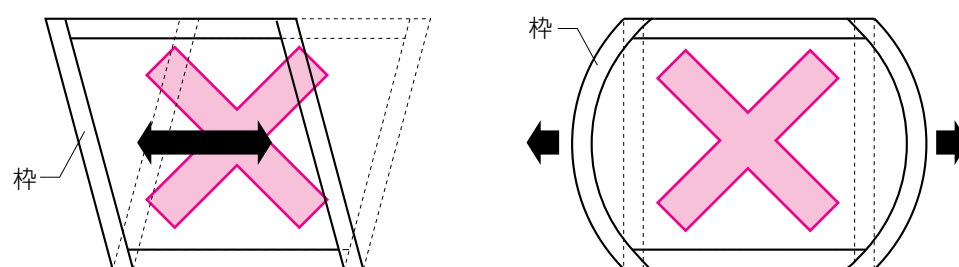


お願い

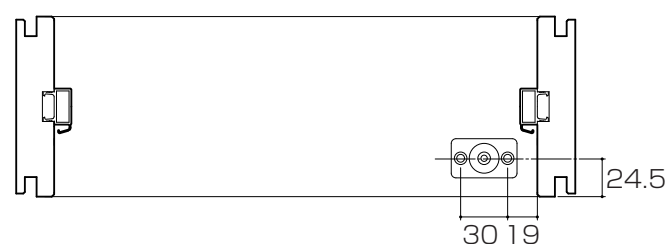
- 組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。

お願い

- ガイド穴にゴミなどが入らないよう注意してください。
- 枠組立て後、揺らす・引張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
- ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下の原因となります。



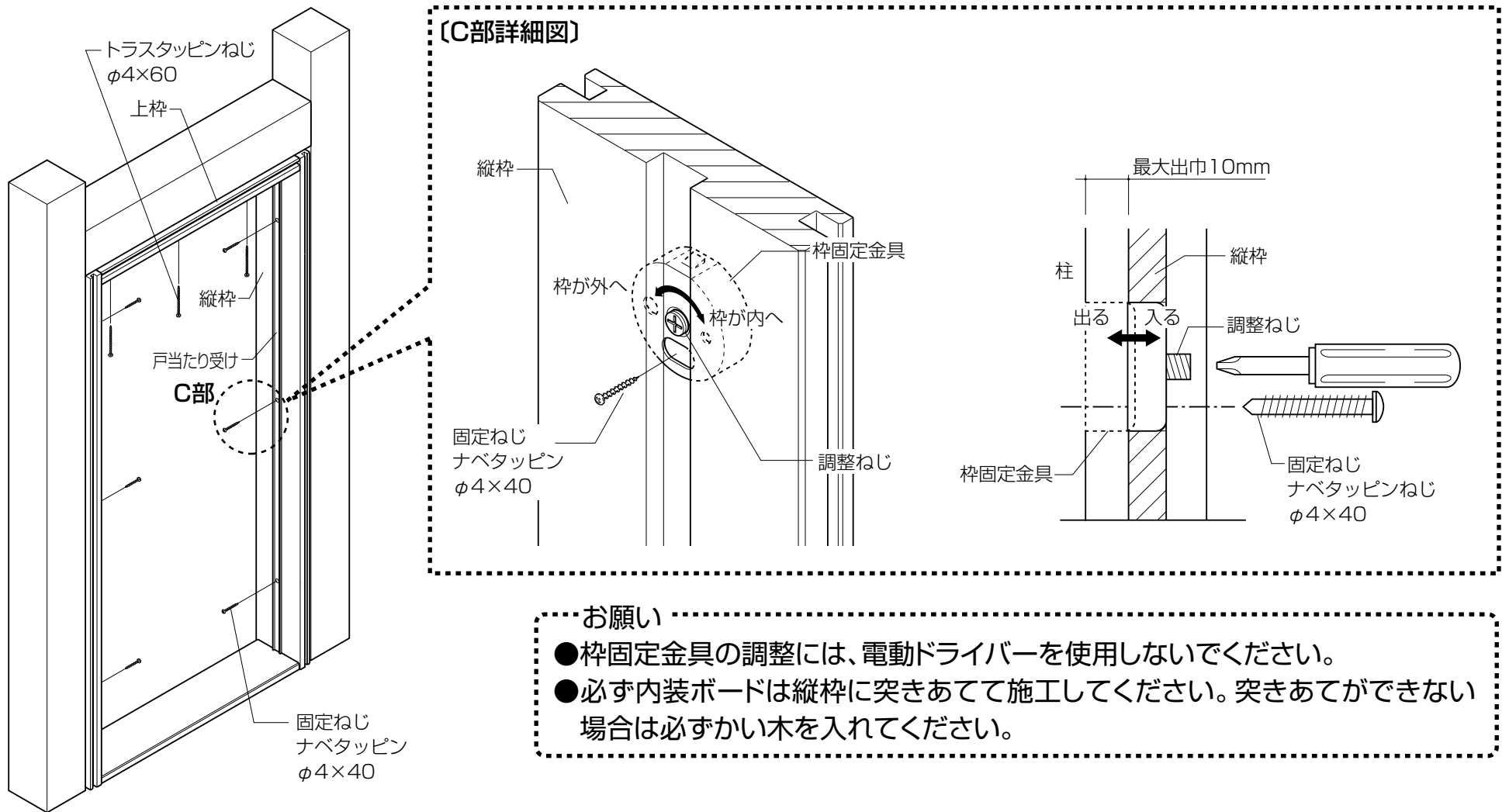
- 沓ずりなしで納める場合は、縦枠を14mm切断し下ピボットを指示の位置に固定してください。



※縦枠の端部より

2 枠の取付け

- ①縦枠に取付けられている枠固定金具（縦枠に3個取付け）の調整ねじを時計回りに回し、金具を均等に出してください。
- ②枠の垂直を確認してください。
- ③固定ねじ（ナベタッピンねじφ4×40）を枠固定金具の長穴中央部分より締め付けてください。
- ④枠の奥行方向の倒れを確認してください。倒れている場合は、固定ねじを緩め枠を動かします。（奥行方向の調整幅は6mmです。）調整後、ねじを固定してください。
- ⑤枠定規をあてて、開口寸法（W方向）を確認してください。ゆるい場合は調整ねじを時計回りに回し、きつい場合は反時計回りに回して枠を調整してください。左右の調整範囲は片側で10mmです。
- ⑥再度、枠の垂直を確認してください。
- ⑦上枠はかい木を入れてトラスタッピンねじφ4×60で固定してください。



お願い

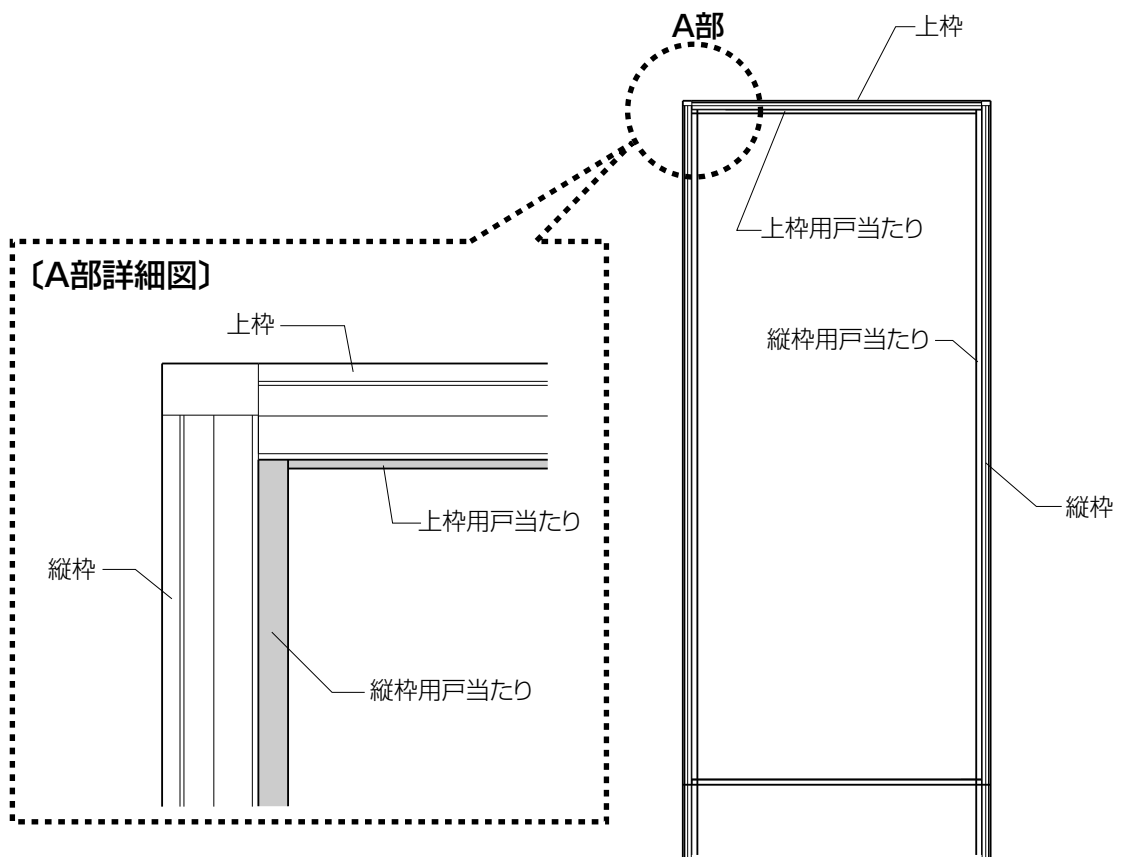
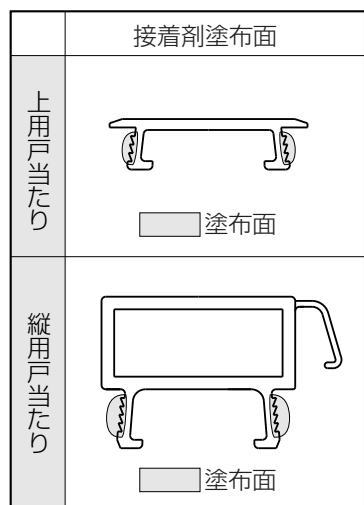
- 枠固定金具の調整には、電動ドライバーを使用しないでください。
- 必ず内装ボードは縦枠に突きあてて施工してください。突きあてができない場合は必ずかい木を入れてください。

3 戸当りの取付け

- ①現場で戸当りの寸法を合わせてます。
 - ②戸当りの足の外側（リブのある面）に接着剤（現場手配）をつけ、固定してください（塗布面は右図参照）。接着剤がはみ出した場合は、必ずふきとってください。
- ※縦枠用→上枠用の順に取付けてください。

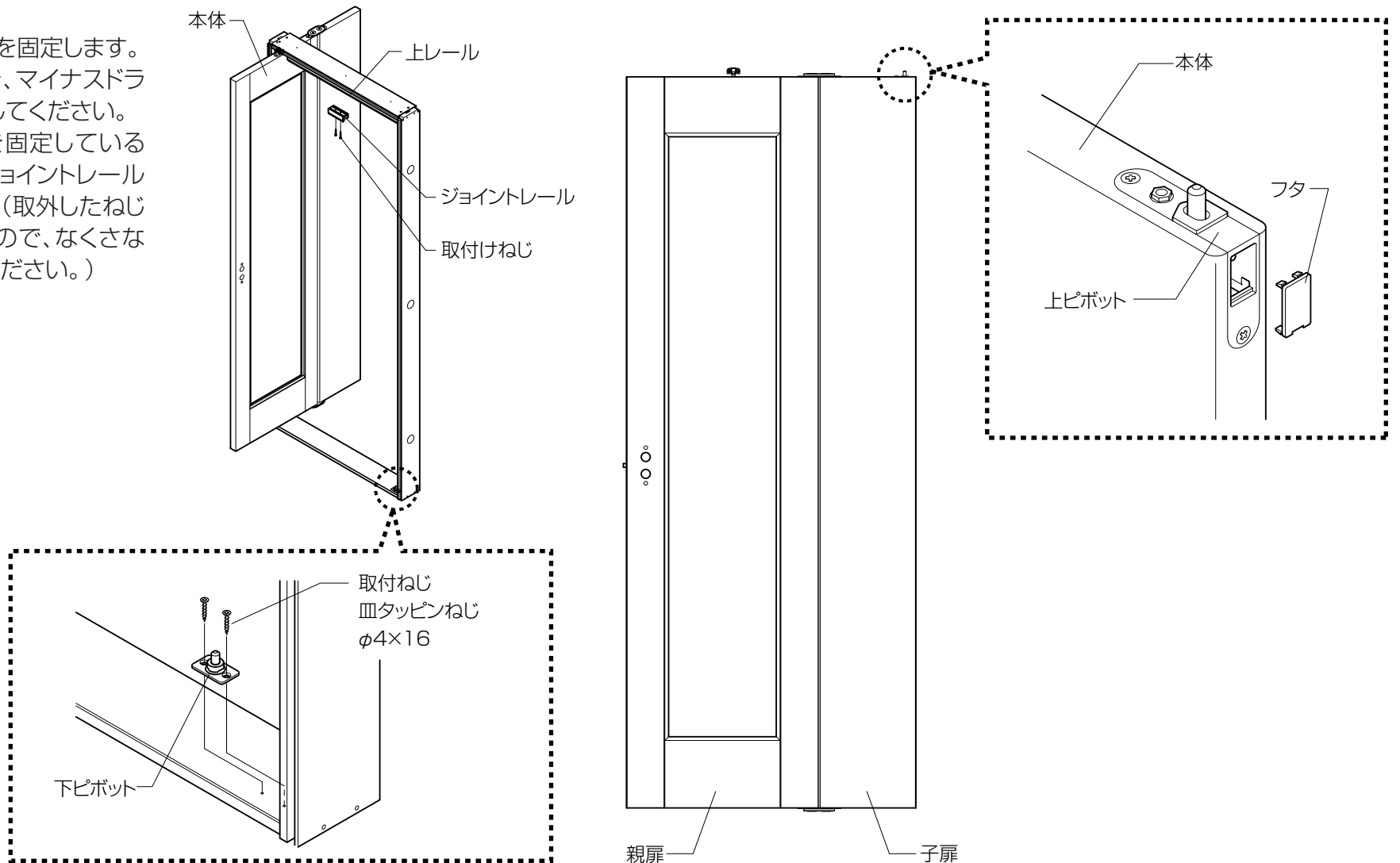
お願い

- ハンマーなどで直接たたかないでください。

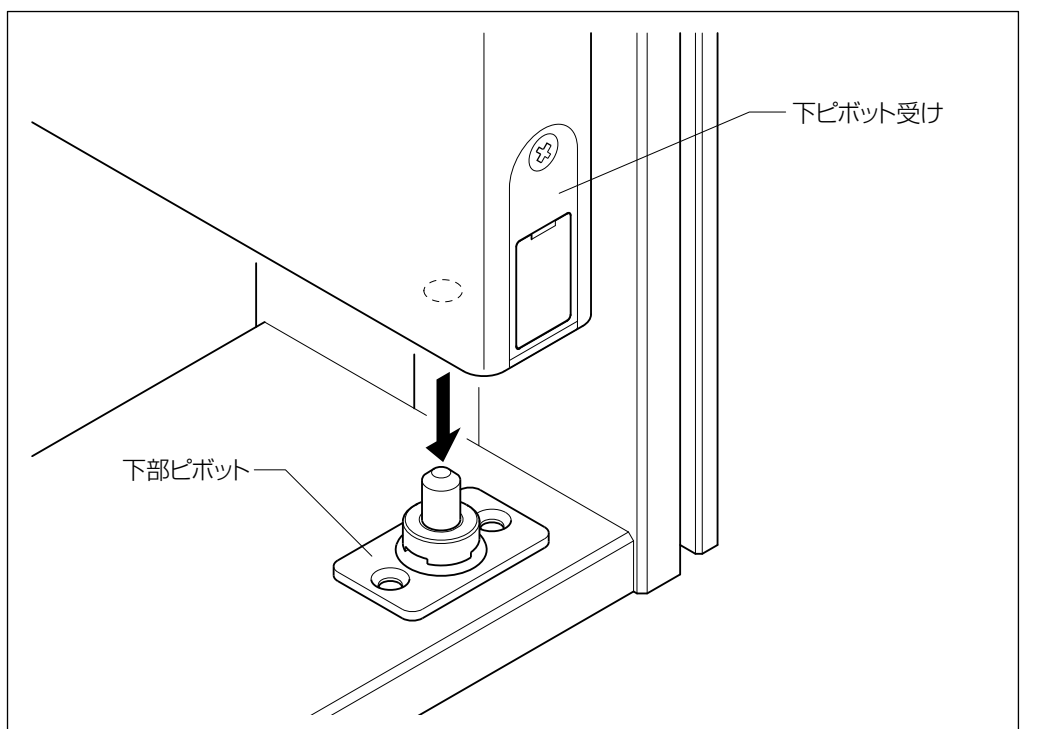
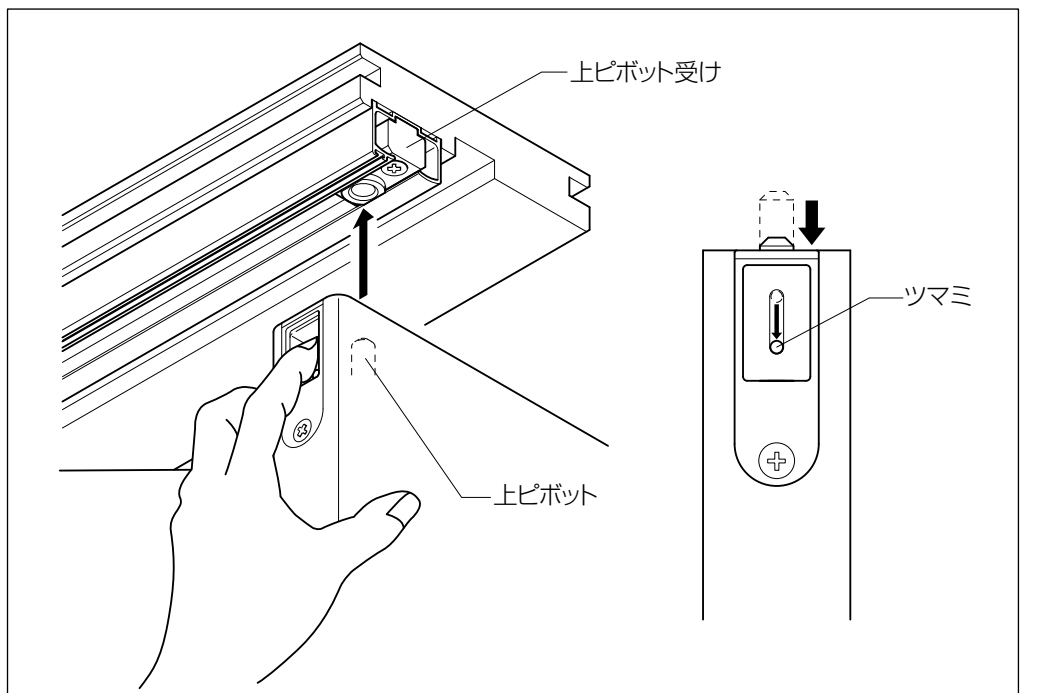
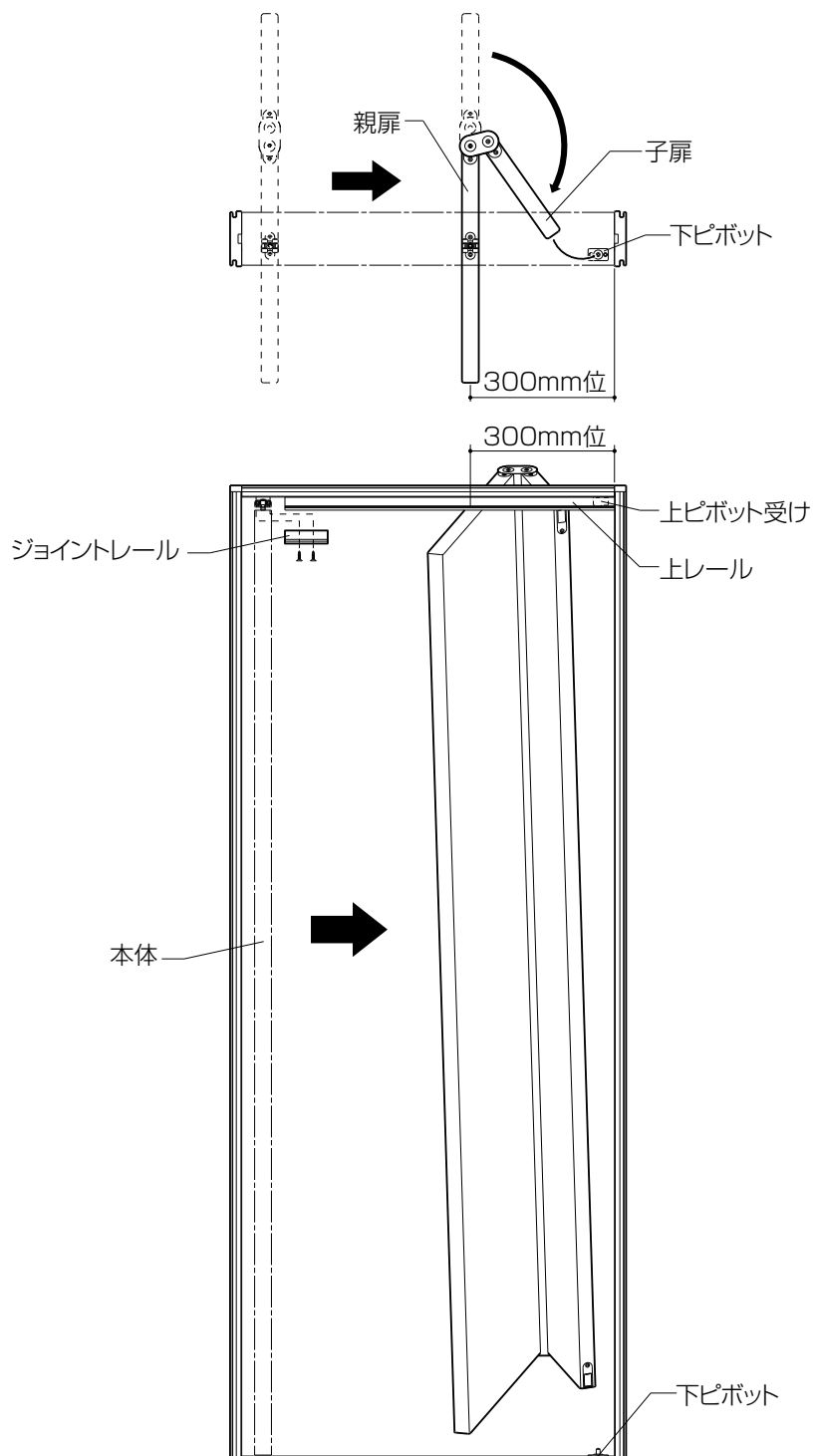


4 本体の吊り込み

- ①沓ずりに下ピボットを固定します。
- ②上ピボットのフタを、マイナスドライバーなどではずしてください。
- ③ジョイントレールを固定しているねじをゆるめて、ジョイントレールを外してください。(取外したねじは再度使用しますので、なくさないように注意してください。)



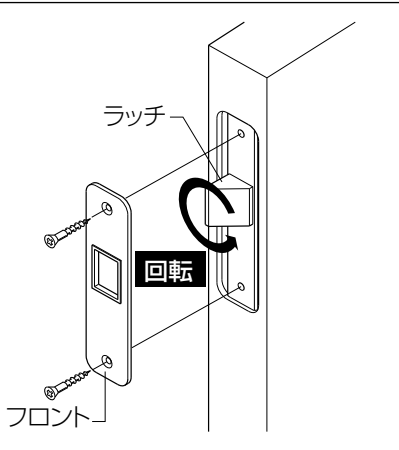
- ④本体を開いた状態で上枠と90°にしてレールの端部より、本体を吊込みます。(吊車をレールに平行にしておいてください。)
- ⑤吊元側の縦枠から吊車が300mm位にきた所で、子扉を折りはじめて扉を斜めに持ち上げながら下部ピボットに本体の受けに入れ込んでください。(子扉は完全に折りきらないようにしてください。)
- ⑥上ピボット内のつまみを下げてください。(軸も下がります。)レール内のピボット受けに軸を入れてください。
- ⑦ジョイントレールを固定して、上ピボットのフタをはめ込んでください。



5 把手の取付け

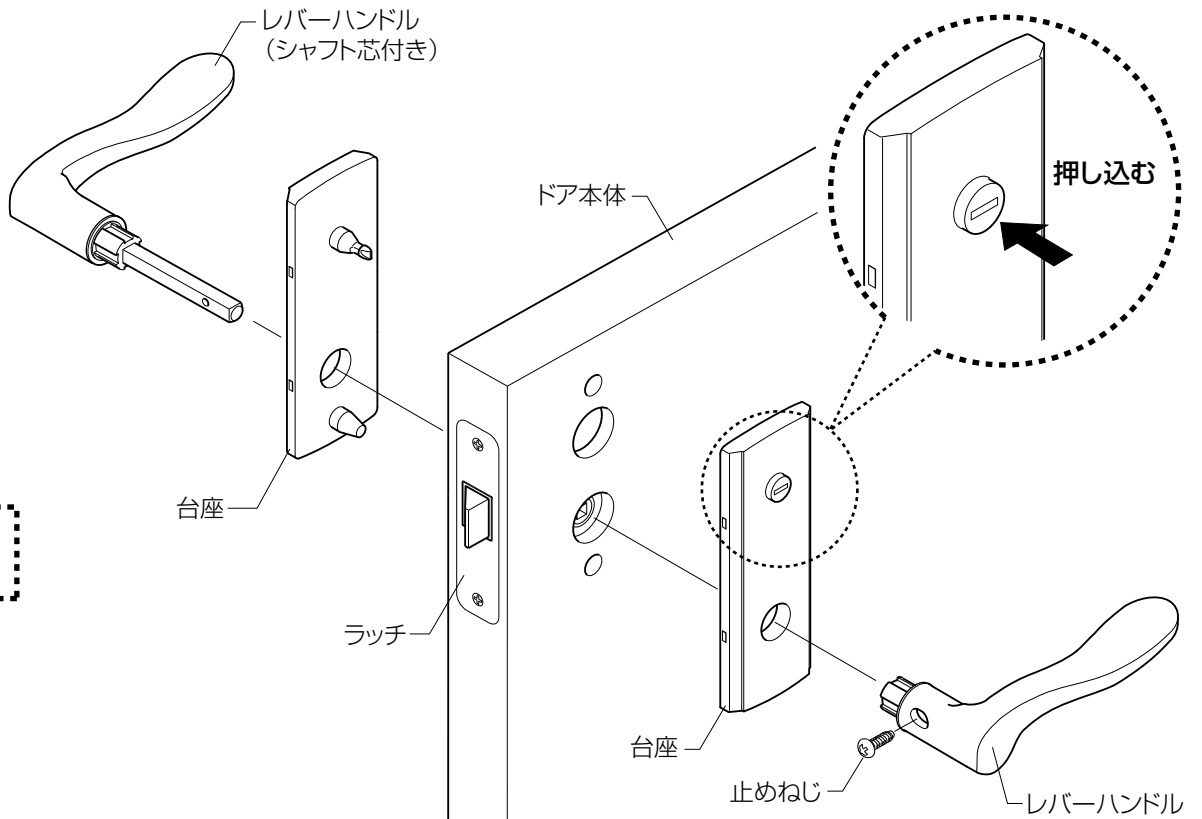
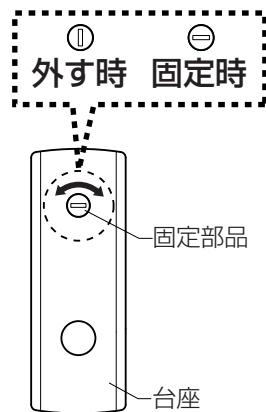
- ①台座の上部の固定部品の溝が横になっている事を確認してください。
- ②本体の加工穴に合わせて、台座を合わせてください。
- ③固定部品を「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
- ④レバーハンドルを両側から差し込み、レバーハンドルが軽く回転することを確認してから、ねじで固定してください。（ハンドルねじ固定部は、長穴になっていますので、両側より押し付けてねじで固定してください。）

※箱錠のラッチは、右吊元の向きになっています。左吊元として使用する場合は、フロントを外し、ラッチを回転させた後、フロントを付け直してください。



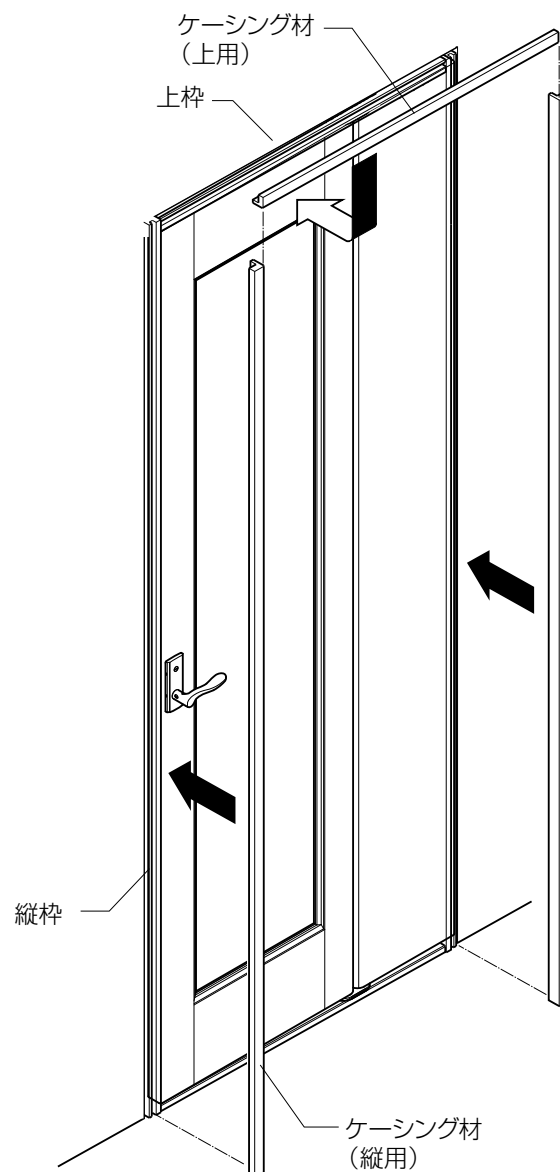
※把手の取外し方法

- ①レバーハンドルの固定ねじを外し、レバーハンドルを外します。
- ②固定部品をマイナスドライバー等で90°方向に回転させると台座が外せます。
- ③再度取り付ける時は、固定部品をマイナスドライバー等で元の状態にしてから取付けを行ってください。

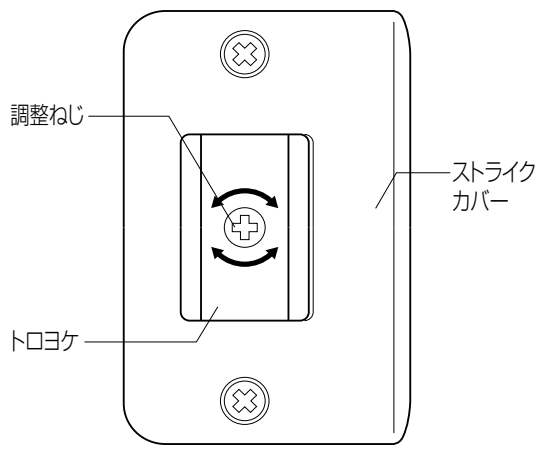


6 ケーシング材の取付け

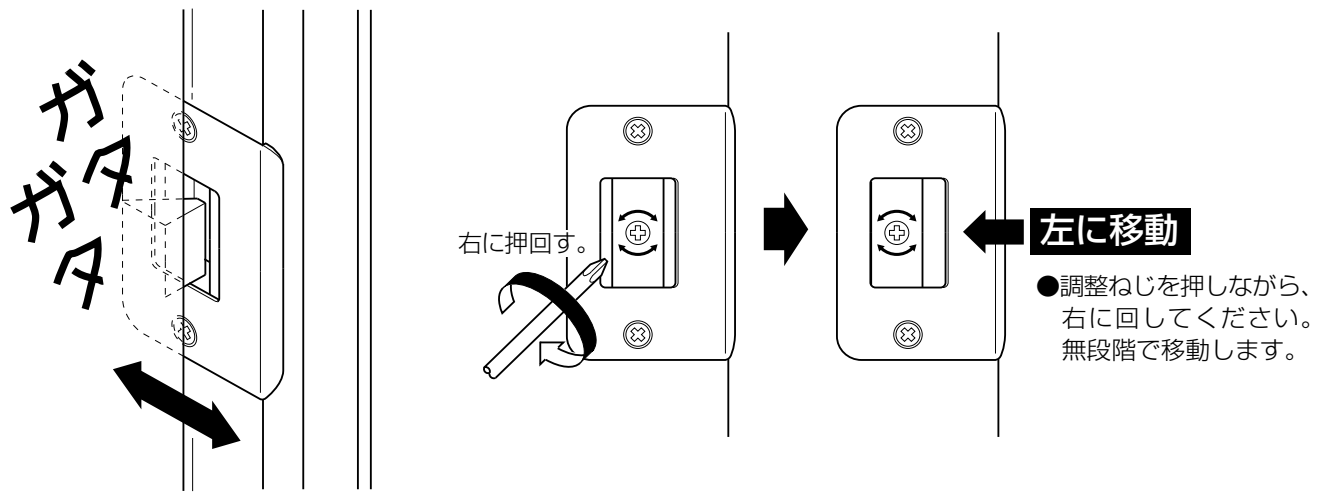
- ※壁材・床材を仕上げたからケーシング材を取付けてください。
- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。（上ケーシングは枠に合わせてあらかじめカットしてあります。）
 - ②枠のケーシング溝へケーシング材を差し込みます。
 - ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤（現場手配）を塗布し、ケーシング材を固定します。
- ※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。



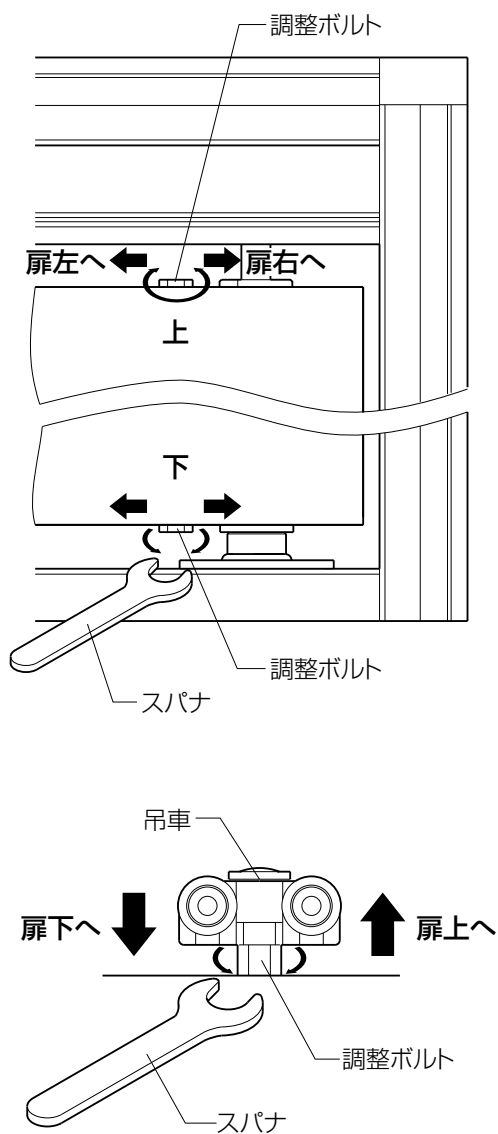
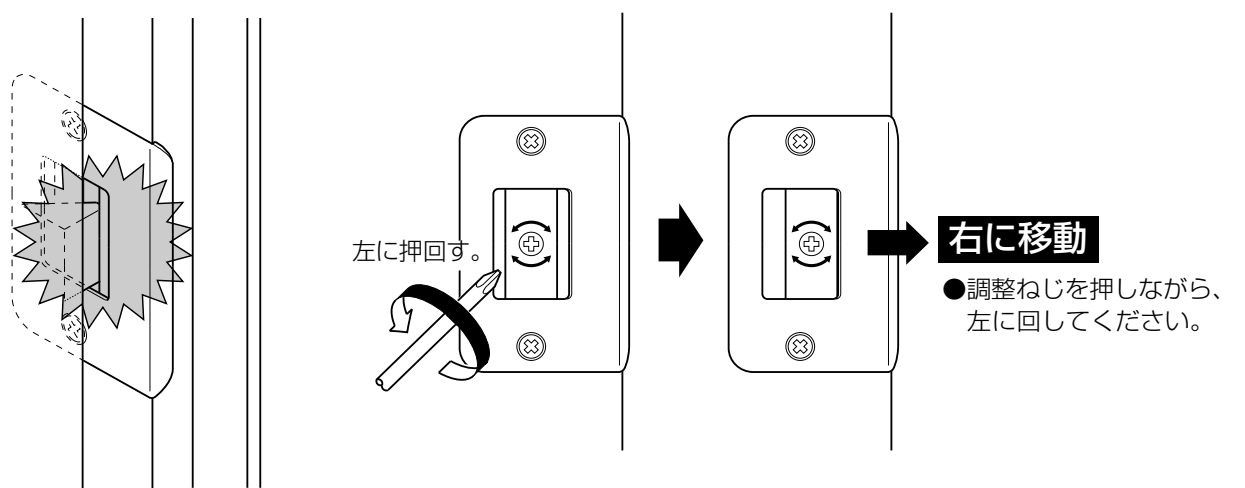
■建付け調整 (ストライクによる調整)



■ラッチがストライクの中でガタつく

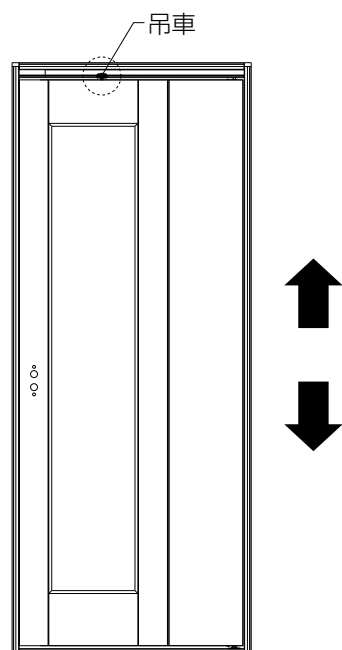


■ラッチがかからない



上下調整

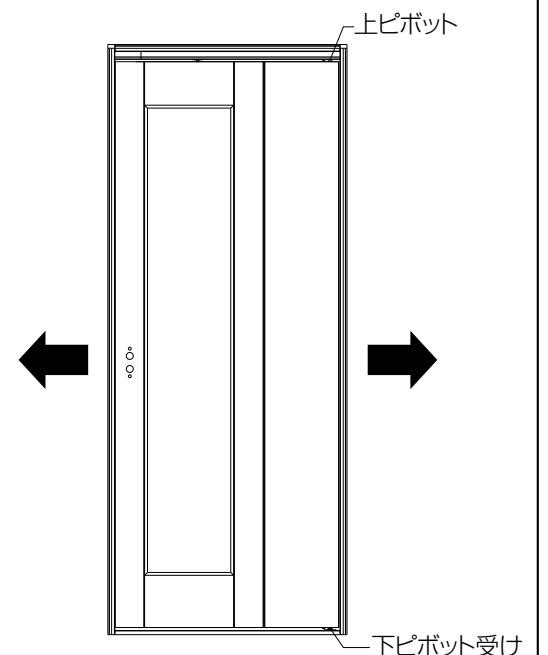
- 吊車で調整します。調整幅は±3mmです。
- 付属のスパナで時計回りに回すと扉があがり、反時計回りで扉が下がります。



左右調整

- 上・下ピボットで調整します。調整幅は±2.5mmです。
- 付属のスパナで上下ピボットの調整ボルトを回して調整します。

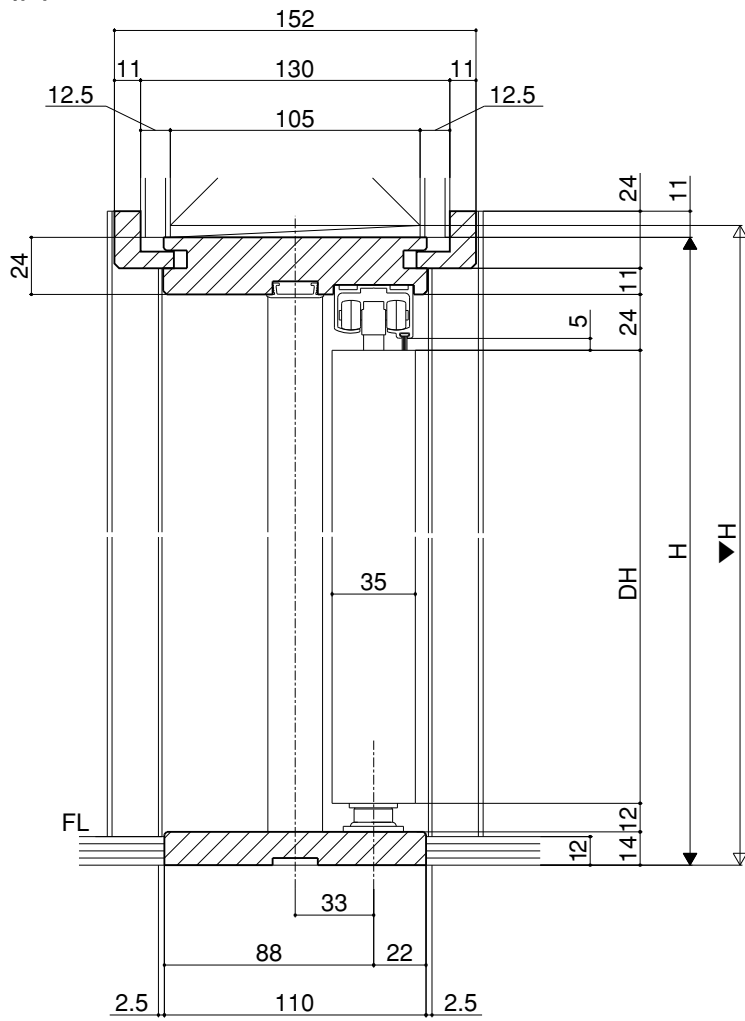
	扉を左へ	扉を右へ
上ピボット	時計回り	反時計回り
下ピボット	反時計回り	時計回り



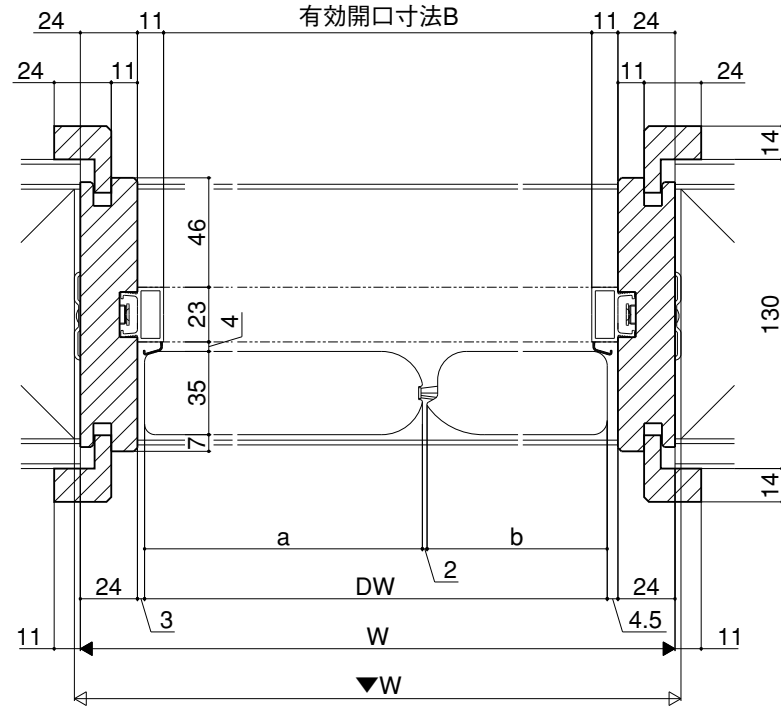
■納まり図

■中折れドアユニット ケーシング付

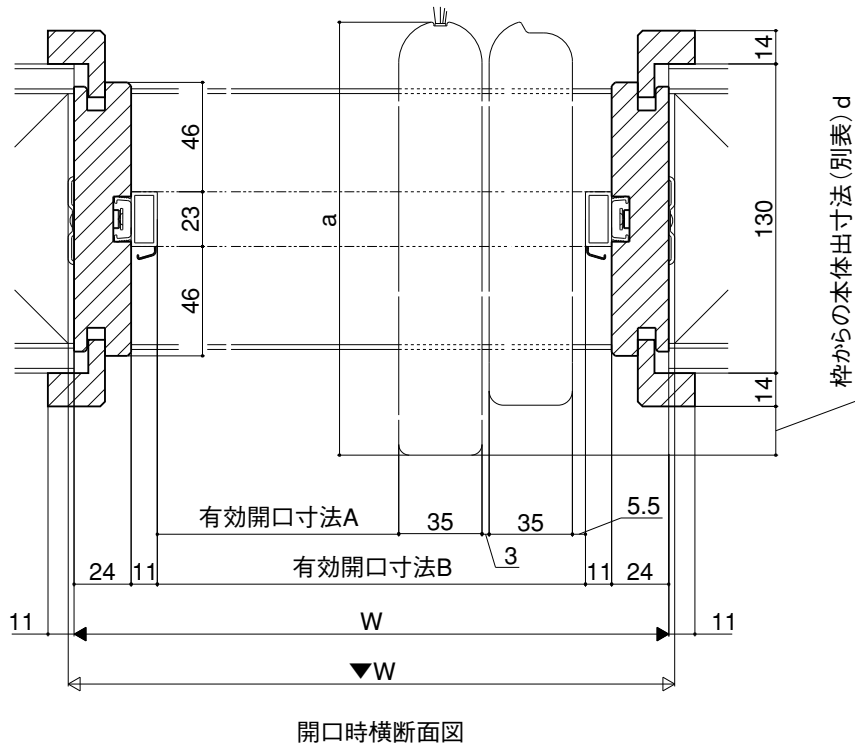
●縦断面図



●横断面図 (閉)



■中折れドアユニット ケーシング付



呼称	a寸法	b寸法	出寸法d
標準ドア			
W06	451	225.5	216.5
W065	464	232.5	222.5
W07	484	242.5	232.5
W08	511	255.5	246.5
W09	543	272.5	261.5
トイレドア			
W06	393	197.5	186.5
W08	511	255.5	246.5
W09	543	272.5	261.5

■中折れ 標準ドア

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W06 (734)	585.5	664
W065 (754)	605.5	684
W07 (784)	635.5	714
W08 (824)	675.5	754
W09 (873)	724.5	803

■中折れ トイレドア

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W06 (648)	499.5	578
W08 (824)	675.5	754
W09 (873)	724.5	803

